

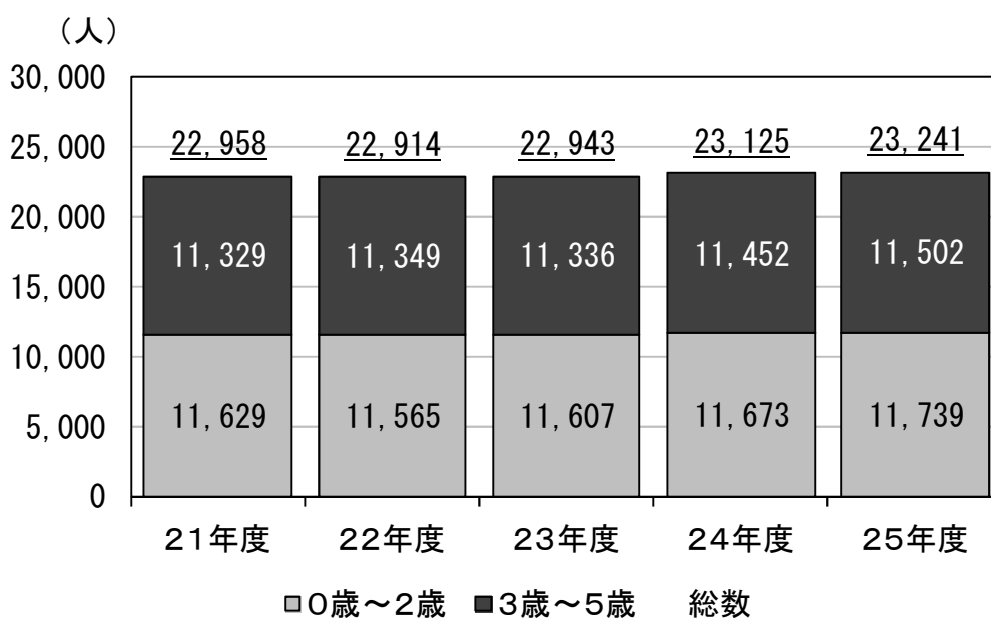
本市における子ども・子育て支援の状況について

1 未就学児の推移

本市では毎年 4,000 人弱程度の出生数があり、年度による多少の増減はあるものの、未就学児の数は微増傾向にあります。(図 1) また、本市の合計特殊出生率は、国や県と比較して高く、増加傾向にあります。(図 2)

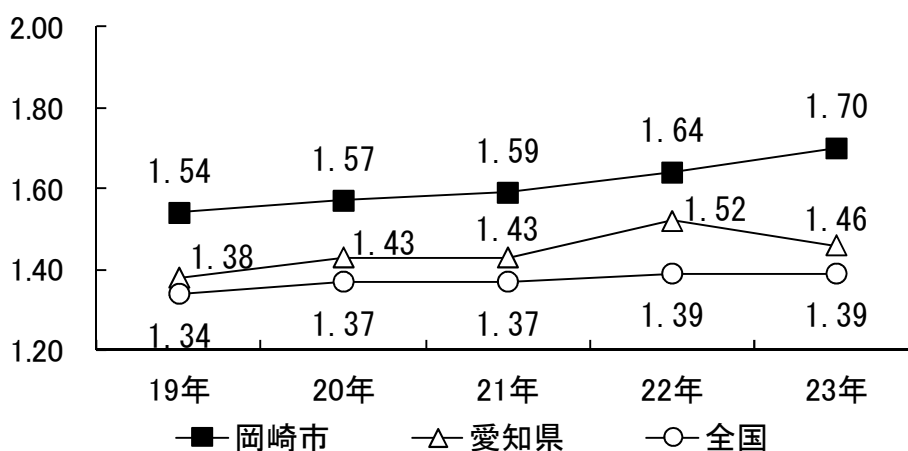
現時点では全市的に増加傾向にある未就学児数ですが、区域によって増加傾向にある区域と、減少傾向にある区域があり、今後は区域による未就学児数の差が拡大していくことも予想されます。(表 1)

図 1 児童人口の推移



資料：岡崎市統計 学区別・年齢別(各歳別)人口 各年 4月 1日時点

図 2 合計特殊出生率



資料：岡崎市統計 (保健総務課)

表1 本庁・支所区域別の児童人口の推移（単位：人）

	H21	H22	H23	H24	H25	H25／H21
中央	6,490	6,496	6,608	6,649	6,737	1.04
岡崎	3,838	3,757	3,746	3,881	3,984	1.04
大平	1,802	1,844	1,858	1,828	1,750	0.97
東部	1,099	1,066	1,023	1,025	1,024	0.93
岩津	2,973	3,074	3,048	3,149	3,167	1.07
矢作	3,730	3,728	3,703	3,681	3,663	0.98
六ツ美	2,673	2,604	2,615	2,596	2,587	0.97
額田	353	345	342	316	329	0.93
合計	22,958	22,914	22,943	23,125	23,241	

資料：岡崎市統計 学区別・年齢別(各歳別)人口 各年4月1日時点

2 教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の状況

岡崎市内には、現在 53 か所の保育所と 25 か所の幼稚園があります。そのほか、子育てに関する施設として、子育て支援センター（特定の保育所内）や地域交流センターのつどいの広場などがあります。

- 保育園
- 幼稚園
- ★ 子育て支援センター
- ◆ 地域交流センター
- 支所

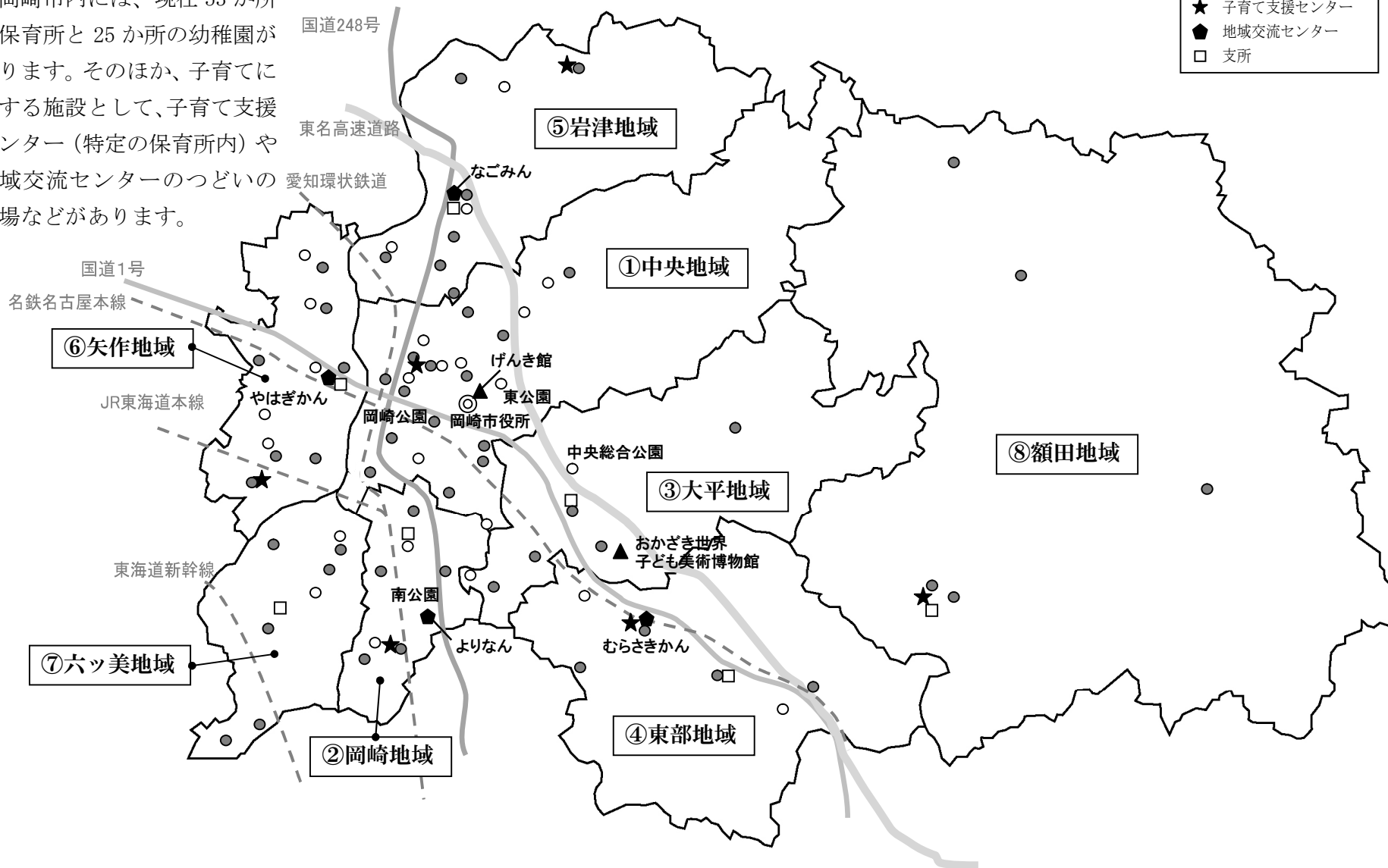


表2 本庁・支所区域別の状況

	ア. 保育所	ア. 幼稚園	イ. 延長保育A	イ. 延長保育B	イ. 延長保育C	ウ. 休日保育	エ. 病後児保育	オ. 一時保育	カ. ショートステイ	キ. 放課後児童健全育成		ク. 放課後子ども教室	学区こどもの家	ケ. 地域子育て支援拠点	コ. ファミリーサポートセンター	
										児童育成センター	民間児童クラブ					
全市域	53	25	53	35	1	1	2	17	3	34	9	12	42	11	1	
①中央地域	15	9	14	13	1	1	2	4	1	9	2	4	12	・子育て支援センター ・げんき館	2	1
②岡崎地域	5	2	5	3	/	/	/	2	/	6	4	/	6	・子育て支援センター ・つどいの広場	2	/
③大平地域	5	2	5	4	/	/	/	1	2	3	/	1	5	/	/	/
④東部地域	4	2	4	2	/	/	/	1	/	3	/	/	4	・子育て支援センター ・つどいの広場	2	/
⑤岩津地域	6	3	7	4	/	/	/	3	/	4	1	4	6	・子育て支援センター ・つどいの広場	2	/
⑥矢作地域	7	5	7	4	/	/	/	2	/	4	2	1	5	・子育て支援センター ・つどいの広場	2	/
⑦六ツ美地域	6	2	6	3	/	/	/	3	/	4	/	2	4	/	/	/
⑧額田地域	5	(2)	5	2	/	/	/	1	/	1	/	/	/	・子育て支援センター	1	/

※額田地域の幼稚園は認定こども園 合計には含めず

※地域の区域境にある施設については、その所在する小学校区をもとに区分しています。(P3 地図上の施設数と異なる場合があります。)

ア. 保育所、幼稚園等の利用実績の推移

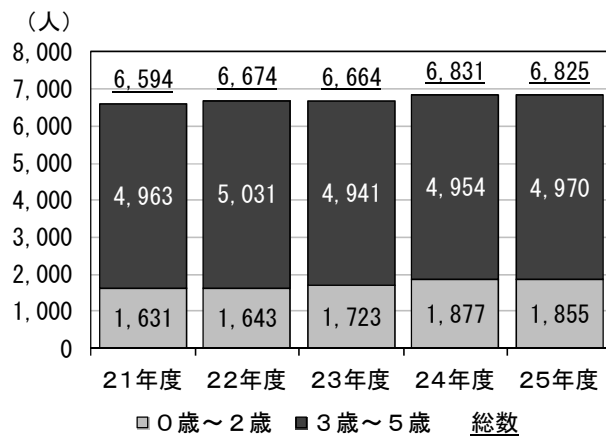
保育園の入所児童数の推移は、増加傾向にあり、なかでも0～2歳の入所児童数の増加が目立ちます。(図3) また、幼稚園の入園児童数も増加傾向にあります。(図4)

対人口比についてみると、3歳～5歳の保育園入所は43～44%程度であり、幼稚園は47～49%程度です。一方で、0歳～2歳の保育園入所は14～16%程度と多くはないですが、近年入所率が増加しており、子どもが小さい段階から預けたいとするニーズが多くなってきていることが予想されます。(図5)

事業者が小学校就学前の子どもを保育する従業員を対象として保育を行う事業所内保育施設では、8割以上が0歳～2歳児の入所となっており、その他の認可外保育施設においても、6割以上が0歳～2歳児の入所となっています。(図6)

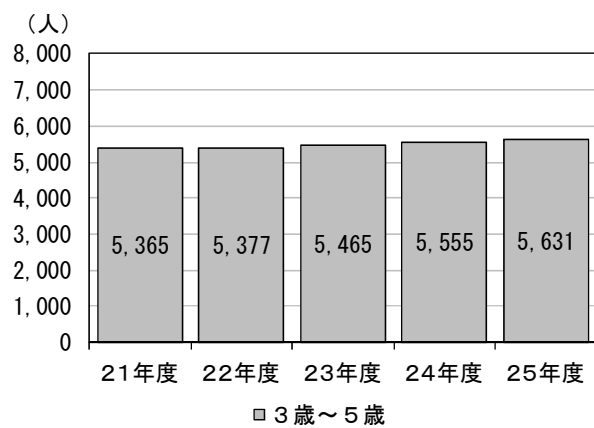
入所率についてみると、保育園では岩津、岡崎、矢作地域において90%を超える入所率となっています。また0歳時の保育利用には余裕がない傾向にあります。幼稚園では認可定員を上回る利用者数となっている地域もあります。(表3)

図3 保育所の入所児童数の推移



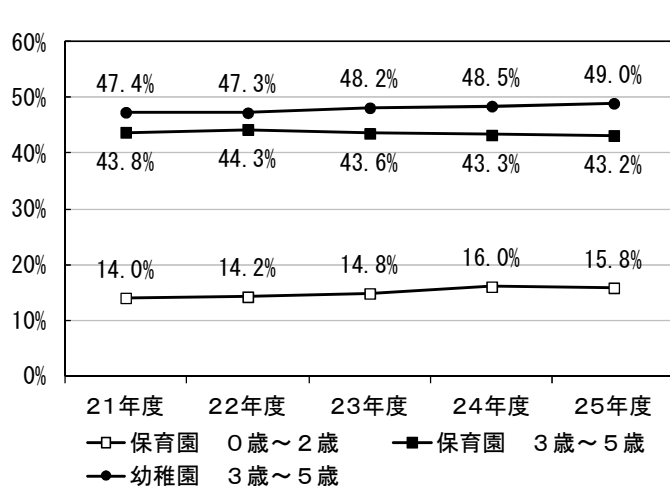
資料：保育課 各年4月1日時点

図4 幼稚園の入園児童数の推移



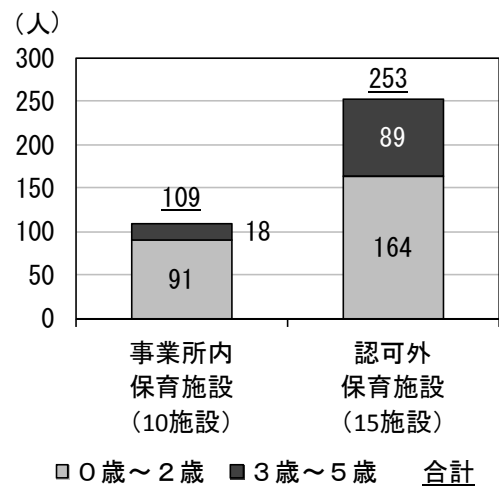
資料：保育課 各年4月1日時点

図5 保育所・幼稚園の入所児童数における対人口比の推移



資料：保育課 各年4月1日時点

図6 認可外保育施設の入所児童数



資料：保育課 H25.10時点

表3 平成25年4月時点の利用状況と定員数（単位：人）

		3-5歳 幼稚園利用数	3-5歳 保育園利用数	1-2歳 保育園利用数	0歳 保育園利用数
中央	利用児童数①	1,750	2,116		
			(1,509)	(569)	(38)
	定員数②	1,940	2,420		
			(1,707)	(669)	(44)
	入所率①÷②	90.2%	87.4%		
岡崎	利用児童数①	564	727		
			(522)	(192)	(13)
	定員数②	610	790		
			(551)	(224)	(15)
	入所率①÷②	92.5%	92.0%		
大平	利用児童数①	688	694		
			(507)	(178)	(9)
	定員数②	640	780		
			(550)	(219)	(11)
	入所率①÷②	107.5%	89.0%		
東部	利用児童数①	550	340		
			(250)	(83)	(7)
	定員数②	520	410		
			(306)	(96)	(8)
	入所率①÷②	105.8%	82.9%		
岩津	利用児童数①	827	893		
			(666)	(218)	(9)
	定員数②	816	930		
			(678)	(242)	(10)
	入所率①÷②	101.3%	96.0%		
矢作	利用児童数①	825	1,011		
			(716)	(278)	(17)
	定員数②	1,077	1,110		
			(784)	(307)	(19)
	入所率①÷②	74.3%	91.1%		
六ッ美	利用児童数①	427	841		
			(633)	(194)	(14)
	定員数②	590	940		
			(697)	(227)	(16)
	入所率①÷②	45.4%	89.5%		
額田	利用児童数①	53	149		
			(114)	(34)	(1)
	定員数②	70	240		
			(195)	(43)	(2)
	入所率①÷②	75.7%	62.1%		

※定員数：幼稚園は認可定員

資料：保育課

※六ッ美地区の幼稚園については、むつみみやこ幼稚園が H25.4 開園の為、認可定員に比べ利用児童数が少なくなっています。

イ. 延長保育の利用実績の推移

通常保育時間（8時～16時）を超える保育ニーズに対応したサービスであり、延長保育には延長A、B、Cの3種あります。延長Aは年度によるばらつきがみられますが、平成25年度には、全入所児童数の約21%の児童が利用しています。（表4）また、延長Bにおいては、利用実績が毎年増加傾向にあり、平成25年度は、平成21年度に比べ約1.2倍以上の増加となっており、全入所児童数の約30%の児童が利用しています。（表5）

表4 利用実績〔延長A：16時～17時30分〕

園数	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
全園	1,246	1,482	1,246	1,276	1,453(※21%)

※延長A利用数/全入所児童数（6,825人） 資料：保育課

表5 利用実績〔延長B：7時～8時、16時～19時〕

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	園数	実績数	園数	実績数	園数	実績数	園数	実績数	園数	実績数
中央	12	592	13	674	13	668	13	736	13	729
岡崎	3	193	3	217	3	212	3	247	3	228
大平	4	167	4	185	4	164	4	152	4	165
東部	2	64	2	69	2	60	2	67	2	80
岩津	4	192	4	240	4	229	4	245	4	269
矢作	3	217	4	189	4	275	4	309	4	318
六ツ美	3	182	3	185	3	193	3	203	3	175
額田	2	22	2	20	2	24	2	26	2	30
合計	33	1,629	35	1,779	35	1,825	35	1,985	35	1,994(※30%)

※延長B利用数/全入所児童数（6,825人） 資料：保育課

表6 利用実績〔延長C：7時～8時、16時～22時〕

園数	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1園	9	9	10	6	6

資料：保育課

ウ. 休日保育の利用実績の推移

保護者の勤務などに伴う日曜日や祝日の保育ニーズに対応したサービスであり、現在は城北保育園の1か所で実施しています。申込者数は増加傾向にありますが、利用実績は勤務事情や家庭状況により、年度によってばらつきがあります。（表7）

表7 利用実績

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
実施施設数	1	1	1	1
申込者数 (登録者数)	24	33	31	42
延べ利用実績数	513	827	934	811

資料：保育課

エ. 病後児保育の利用実績の推移

病気の回復期の子どもが、まだ保育所・小学校等に通えなかったり、保護者の都合で保育できない場合に子どもを一時的に預かる事業であり、現在、八帖保育園、げんき館の2か所の実施となっています。利用実績としては、年度によってばらつきがありますが、げんき館での利用が多くなっています。(表8)

表8 利用実績

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
実施施設数		2	2	2	2
延べ 実績 数	八帖	0	3	2	3
	げんき館	8	12	21	16
	計	8	15	23	19

資料：保育課

オ. 一時保育（預かり保育）の利用実績の推移

保育園では、保護者の就労、疾病、出産または育児疲れの解消などのために、一時的な子どもの保育を行っており、現在は市内 17 か所で実施しています。利用実績としては、年々増加傾向にあり、平成 24 年度は、対平成 21 年度比約 45%の増となっています。中央区域、岩津区域、矢作区域で利用が多くなっています。（表 9）

私立幼稚園では、通常の教育時間後や長期休業中などに、保護者の希望に応じて、預かり保育を実施しており、現在は市内 18 園にて実施しています。（表 10）

表 9 保育園一時保育利用実績

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	園数	利用実績数	園数	利用実績数	園数	利用実績数	園数	利用実績数
中央	4	1,708	4	1,361	4	926	4	1,557
岡崎	1	505	1	530	2	908	2	669
大平	2	295	2	285	1	180	1	272
東部	0	—	0	—	1	356	1	270
岩津	2	588	2	845	3	974	3	1,206
矢作	2	460	2	788	2	1,407	2	1,244
六ッ美	1	233	2	482	2	486	2	430
額田	1	157	1	239	1	102	1	68
合計	13 園	3,946	14 園	4,530	16 園	5,339	16 園	5,716

※平成 25 年 4 月より六ッ美地区で 1 園開始

※資料：保育課

表 10 私立幼稚園預かり保育利用実績

区域	園数	利用者数
中央	6 園	103
岡崎	1 園	23
大平	2 園	80
東部	1 園	76
岩津	2 園	82
矢作	4 園	54
六ッ美	2 園	20
合計	18 園	438

※資料：H25.6 保育課アンケート調査

カ. ショートステイ（子育て短期支援）の利用実績の推移

保護者による養育が一時的に困難になった場合に、児童養護施設等で児童の養育・保護を行うショートステイを実施しており、市内には岡崎平和学園、米山寮（プティヴィラージュ、ひよこハウス）の3か所が整備されています。利用日数及び利用者数は、年度によって異なっている状況です。（表 10）

表 10 利用実績

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施施設数	3	3	3	3
利用日数	46	61	91	57
利用者数	6	14	22	14

資料：家庭児童課

キ. 放課後児童健全育成事業の利用実績の推移

放課後児童健全育成事業として、保護者が就労しているなどの理由で、留守家庭となる子どもの居場所を確保するため、小学校1～3年生を対象に児童育成センター及び民間の児童クラブを設置しています。現在は市内に児童育成センターが34か所、民間の児童クラブは9か所あります。なかでも、中央区域、岡崎区域で設置数が多く、比例して利用実績も多くなっています。全体での利用状況は年々増加傾向にあります。（表 11）

表 11 利用実績

	箇所数	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
中央	11（2）	518	492	529	545	598
岡崎	10（4）	340	365	398	438	466
大平	3	151	136	155	161	176
東部	3	62	59	61	62	76
岩津	4（1）	186	174	189	195	214
矢作	4（2）	262	280	264	290	291
六ッ美	4	198	213	203	202	202
額田	1	22	16	18	20	24
合計	34（9）	1,739	1,735	1,817	1,913	2,047

※箇所数で（ ）内は民間の数

資料：こども育成課 各年5月1日時点

ク. 放課後子ども教室の利用実績の推移

放課後子ども教室として、小学生の放課後の居場所づくりを目的に、子どもの安全な遊び場、学びの場として学区ごとに設置している「学区こどもの家」を活用しています。市内に42か所ある「学区こどもの家」のうち現在は12か所（平成25年4月より矢作南学区、六ッ美南部学区、六ッ美西部学区、細川学区を含む）で実施しています。利用状況は、中央区域で参加者数が増加傾向にあります。岩津区域で参加者数が減少しています。（表12）

表12 利用実績

	平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	箇所	参加者	開催日	箇所	参加者	開催日	箇所	参加者	開催日	箇所	参加者	開催日
中央	2	13,704	436	4	28,643	1,172	4	34,627	1,180	4	37,559	1,172
岡崎	1	4,421	179	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大平	0	—	—	1	8,249	293	1	9,466	295	1	8,750	293
岩津	1	6,076	182	3	18,349	879	3	18,027	885	3	16,223	879
合計	4	24,201	797	8	55,241	2,344	8	62,120	2,360	8	62,532	2,344

※平成25年4月以降の4か所は含めず。

資料：子ども育成課

ケ. 地域子育て支援拠点事業の利用実績の推移

主に就園前のお子さんを子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する事業であり、本市では、地域交流センターで実施している「つどいの広場」と、城北保育園に併設している「総合子育て支援センター」、特定の保育園で実施している「地区子育て支援センター」があります。利用実績は年々増加傾向にあり、なかでも、「つどいの広場」は実施施設の増加に伴い利用が増えています。また、相談件数も増加傾向にあります。(表 13)

表 13 利用実績

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施施設数	つどいの広場	4	4	4	5
	総合・地区子育て支援センター	6	6	6	6
	計	10	10	10	11
延べ利用実績数	つどいの広場	96,765	104,474	103,598	126,187
	総合・地区子育て支援センター (サークル)	7,512	5,344	7,887	3,392
	総合・地区子育て支援センター (広場)	25,601	30,340	28,873	34,644
	計	129,878	140,158	140,358	164,223
相談件数	つどいの広場	977	1,371	1,622	1,548
	総合・地区子育て支援センター	670	491	519	825
	計	1,647	1,862	2,141	2,373

資料：保育課

コ. ファミリー・サポート・センター事業の利用実績の推移

育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人を会員として組織化し、相互援助活動の紹介を行う事業であり、城北保育園に併設している総合子育て支援センターを拠点に実施されています。利用状況としては依頼会員、援助会員ともに増加傾向にあり、利用実績も増えています。(表 14)

表 14 利用実績

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施か所数		1	1	1	1
会員数	依頼会員	825	900	901	940
	援助会員	131	136	143	155
	両会員	113	115	115	110
延べ利用実績数		3,881	4,380	5,268	5,685

資料：保育課

サ. 乳児家庭全戸訪問事業の実績の推移

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供並びに親子の心身の状況や養育環境などの把握及び助言を行っています。

表 15 実績

	平成 21 年度(注1)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
訪問員による訪問対象乳児数	2,713	3,494	3,497	3,390
訪問実施済数	2,640	3,390	3,408	3,327
訪問率	97.3%	97.0%	97.5%	98.1%
未訪問家庭数(注2)	37	51	63	30
支援が必要な家庭数(注3)	31	34	39	23

資料：家庭児童課

(注1) 平成21年度は6月から翌3月までの訪問実績

(注2) 訪問対象乳児数と訪問実施済数の差との違いは、里帰り中等により訪問日程を変更した数を除いているため

(注3) 3月のケース対応会議分までの人数

シ. 養育支援訪問事業の実績の推移

乳児家庭全戸訪問事業や母子保健事業、関係機関からの連絡等により、養育支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師等がその居宅を訪問し、養育に関する相談・指導、助言や家事援助等を実施しています。

表 16 実績

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
専門職訪問 (養育相談等)	対象世帯数	7	14	27	24
	延べ回数	72	65	171	118
ヘルパー派遣 (家事援助等)	対象世帯数	5	12	7	7
	延べ回数	105	159	157	109

資料：家庭児童課

ス. 妊婦健診事業の利用実績の推移

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、必要な回数（14回程度）の妊婦健診を受けられるよう、健康診査の公費負担を行っています。

（平成21年2月より診査受診票交付を7回から14回へ変更）

表 17 実績

単位：人	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
延受診者数	43,210	48,004	51,624	50,472
異常なし	38,188	45,084	48,849	47,948
異常あり	5,022	2,920	2,636	2,421
不明	—	—	139	103
基本的診査項目に加えて実施する検査項目				
子宮頸がん検査（H22.4月～）	—	3,631	3,808	3,739
HBs抗原検査	3,954	4,179	3,839	3,770
HTLV-1抗体検査（H22.10月～）	—	—	3,636	3,743

資料：健康増進課